



北海道

JAながめま ブロッコリー作付農家

生産 販売



出向く指導体制の強化や低温貯蔵化施設の整備などで、**所得43%アップ**

JAながめま（夕張郡長沼町）では、**生産拡大**に向けた農地集約や大型機械の導入、徹底した栽培指導や出荷基準の遵守、**販売拡大**に向けた出荷施設の整備による付加価値の向上など、さまざまな取り組みを実践しています。

その結果、ブロッコリーについて農家1戸当たりの所得は、2019年度には372万円となり、2015年度に比べ111万円、**42.5%の増加を実現**しました。

【JAの具体的取り組みと成果】

生産拡大に向けては、労働時間短縮によるブロッコリーの作付増加を目指し、地域の圃場の排水対策を実施し**大区画化と農地集約**に取り組みました。また、**大型機械の導入**も行いました。

この他、作付モデルの提案、栽培技術指導、経営分析の一元的対応のため、**2018年度からJAの専任相談員6名を本所に集約化し、また、新たに技術コンサルタント1名を配置し、出向く指導体制**によるスピード感ある相談業務を展開しました。

その結果、ブロッコリーの作付面積が増加し、生産量は、2015年度の1,236トンから2019年度は1,900トンとなり53.7%増加しました。

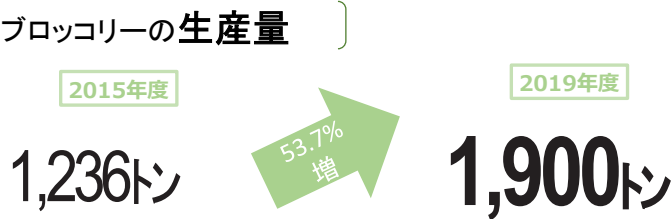
販売拡大に向けては、夏期間における米国産に代わる北海道産の推進やコンビニとの提携によるサラダなどの加工品を出荷するため、**ブロッコリーの低温貯蔵化を可能とする出荷施設を整備**しました。

また、出荷資材の**発泡スチロールの規格を見直し、統一することにより物流の効率化**にも取り組みました。

その結果、ブロッコリーの販売金額は2015年度の4億7,507万円から、2019年度は7億5,200万円となり、60.4%増加しました。

これらの取り組みにより、2015年度から2019年度にかけて、**対象農家1戸当たり42.5%の所得増大を実現**しました。

ブロッコリーの生産量



ブロッコリーの販売金額



対象農家1戸当たり平均農業所得 ※



※対象農家のブロッコリーにおける所得



(相談員の指導風景)



(統一規格の発泡スチロールによるトラックへの積み込み)

JAグループのホームページから、自己改革の成果をまとめた動画や全国のJAの取り組みがご覧になれます。

<https://org.ja-group.jp/challenge/>

発行/ JA全中(一般社団法人 全国農業協同組合中央会)



JAグループ

耕そう、大地と地域の未来。